

城南家保ニュース Vol.27-3

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町一本杉 1237-1

TEL 0966-22-3814 FAX 22-3617

E-mail jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

ホームページ <http://www.pref.kumamoto.jp/kahojounan>



中央家畜保健衛生所新庁舎落成！！

5月27日に熊本市南区城南町において、熊本県中央家畜保健衛生所新庁舎の開所式が行われました。新庁舎は、世界保健機関（WHO）が定めるバイオセーフティレベル（BSL）の4段階のレベルにおいて、BSL3の検査室を持つ施設になります。本検査室は、病原体を封じ込める機能を有しており、高病原性鳥インフルエンザウイルス等の取り扱いが可能となります。その他の設備も新調され、様々な家畜伝染病や人獣共通感染症の発生が危惧される近年、より安全で、迅速な検査が行える施設となっています。これらの施設を活用し、県内5家保一丸となって、今後も家畜伝染病防疫と家畜生産振興の推進に努めてまいります。



球磨・芦北地域家畜衛生推進会議を開催しました

5月20日に当家保研修館において、管内の市町村畜産担当者、畜産関係団体、獣医師会、球磨及び芦北地域振興局の担当者を参集し、球磨・芦北地域家畜衛生推進会議を開催しました。本会議では、所長挨拶、職員紹介を行った後、家保整備計画、衛生対策事業、防疫対策事業、牛白血病ガイドラインについての説明を行いました。また、最後に熊本県防災情報メールサービスの紹介を行いました。本サービスでは、国内及び海外における家畜伝染病発生情報をメールで提供しています。未登録の方は是非登録をお願いします。



（entry@anshin.pref.kumamoto.jp に空メールを送信すると、案内メールが届きますので、手順に従って登録してください。）

暑熱対策で夏期の生産性低下を防ぎましょう

6月2日の入梅後、雨の多い日が続いています。この先、気温の上昇と高い湿度により、家畜が体調を崩しやすくなります。暑熱対策の例をいくつか挙げますので、参考にさせていただければと思います。

直射日光対策

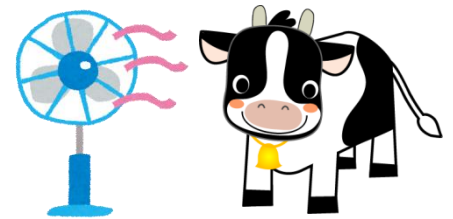
寒冷紗やグリーンカーテンが有効です。南側や西側の日光の差し込む箇所に設置することで、畜舎の室温上昇を防ぎます。また、畜舎の屋根に石灰乳の塗布や屋根への打ち水をすることで、屋根の温度上昇による畜舎内の室温上昇を防ぐことができます。

室温上昇対策

畜舎内から室温を低下させるものとして、細霧装置、クーリングパッド、扇風機などが挙げられます。細霧装置と扇風機の組み合わせにより、さらなる効果を得ることができます。

体温上昇対策

家畜の体温上昇を防ぐ方法として、毛刈り、家畜への直接散水、飼養密度の低減などが挙げられます。また、飲水量を十分に確保することも重要です。飲水が十分に行えないと、体温上昇とともに採食量も減少し、著しい生産性低下を招くことになります。



近隣諸国における悪性伝染病発生状況

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	台湾	4月13日	牛	A
	中国	5月1日	豚	A
高病原性 鳥インフルエンザ	中国	4月10日	野鳥 (ハヤブサ)	H5N6
		4月29日	野鳥 (シキチョウ)	H5N6
	台湾	4月20日~4月25日	鶏・がちょう	H5N2
		5月1日~5月8日	鶏・がちょう	H5N2
		4月21日~4月24日	鶏・がちょう	H5N8
		5月4日~5月5日	鶏・がちょう	H5N8

6月1日現在

編集後記

2年目になり、球磨地域にもだいぶ慣れました。農家さんへの対応も昨年度と比べると上手くなったのではないかと思います。あとは獣医師として専門的なアドバイスをできるようにになれば理想像に近づくのですが…。この点に関してはまだまだ未熟さを痛感しています。日々勉強を頑張っていきたいと思います!! (防疫課 F.T)